

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

3月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「サルトリイバラ サルトリイバラ科」
雌雄異株の落葉つる性半低木。赤い実は落葉後もつるに残る。別名「山帰来（さんきらい）」



☆「カラスノエンドウ マメ科」☆
至る所に普通に生えるつる性の多年草。果実が熟すと黒くなることから名付けられた。



☆「ニョイスミレ スミレ科」☆
別名ツボスミレ。花は白色で直径1cmと小さい。葉は先のとがったハート形。



「ウラシマソウ サトイモ科」
山地の湿地に生える多年草。花序から付属体がひも状に伸びるのが特徴。性転換する事でも知られる。



☆「アオノクマタケラン ショウガ科」☆
湿った林下に生える常緑多年草。ランと名が付くがショウガの仲間。和歌山県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。



☆「タチツボスミレ スミレ科」☆
全国のいたる所に生える多年草。花は薄紫色で匂わない。葉はハート形。日本を代表するスミレ。



「モチツツジ ツツジ科」
花期は4～6月だが年間を通して咲くものもある。花や葉が粘っていることが名前の由来。



「ムラサキサギゴケ ゴマノハグサ科」
湿地や日当たりの良い所に生える多年草。花を白鷺、株を苔に見立ててその名が付いた。



☆「コシダ ウラボシ科」☆
日本海岸より太平洋岸に多い常緑のシダ。正月飾りに使われるウラボシ同様葉の裏が白いが小型。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くことも出来ます。

ビジターセンター園地内では、いろいろな草花が芽吹き、鳥たちはさえずり春を告げています。来園をお待ちしております(°^°)／

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2026年3月後半号

